

デザインの可能性

空間論
演習2授業期間の毎週金曜日18時～風光館3階F-331教室(フォーラム)にて
(都合により会場を変更する場合があります。変更はTwitter (<https://twitter.com/seikaarchitect>) 等でお知らせします。)2017/10 -
2018/01

この連続レクチャーシリーズは、デザイン学部教員及びゲスト講師がデザインをめぐる対談や講演を行います。デザインに関する各領域を超えて、さまざまな角度からの視点を捉えることで新たな発想が生まれ、思考の可能性が広がることを期待します。デザイン学部の授業「空間論演習」となっていますが、オープン講義ですので他の学部・学科の学生や一般の皆様も自由に聴講できます。参加費無料につき是非ご参加ください。

10|06 038

「環境とデザイン」

葉山勉

(建築家/京都精華大学教授)

10|13 039

「泊まる × 空間のデザイン」

岩崎達也 + 龍崎翔子 + 矢津吉隆

(マガザンキョウト編集長) + (ホテルプロデューサー) + (美術家、kumagusuku 代表)

10|20 040

「Fermented」

平田晃久

(建築家/京都大学准教授)

10|27 041

「建築を知る、のデザイン」

倉方俊輔

(建築史家/大阪市立大学准教授)

11|10 042

「テクノロジーとデザイン」

増田展大

(京都精華大学非常勤講師、美学・芸術学)

11|17 043

「映像から想像する空間体験」

室千草

(映像作家/京都精華大学建築学科非常勤講師)

11|24 044

「民俗と建築にまつわる工芸」

中村裕太

(美術家/京都精華大学芸術学部特任講師)

12|01 045

「建築の可能性を考える。神殿か住居か」

藤原徹平

(建築家/横浜国立大学大学院Y-GSA准教授)

12|08 046

「カタチ：人と状況のインタフェースの発見」

櫛勝彦

(京都工芸繊維大学教授、デザイン学)

12|15 047

「ツール・スキル・メンタリティ」

ドットアーキテクト

(建築家ユニット：家成俊勝+赤代武志)

12|22 048

「人と植物の関係をデザインする」

竹内一馬

(京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授)

01|19 049

「絵本と建築」

小野明

(京都精華大学デザイン学部イラスト学科特任教授)

01|26 050

「京都市の屋外広告物あれこれ」

出井豊二

(京都女子大学生活デザイン研究所副所長・特任教授)

2017年度後期 Guest selector: 佐藤守弘(デザイン学部共通/芸術学・視覚文化論専攻)、小山格平(プロダクトデザイン学科プロダクトコミュニケーションコース)、竹内一馬(ビジュアルデザイン学科デジタルクリエイションコース)、北村ケンジ・岸本敬子(イラスト学科イラストコース)、葉山勉・後藤直子(建築学科建築コース)

【お問い合わせ先】京都精華大学デザイン学部建築学科・京都市左京区岩倉木野町137・<http://arc.kyoto-seika.ac.jp/>・E-mail⇒architect@kyoto-seika.ac.jp・twitter⇒@seikaarchitect・【京都精華大学へのアクセス】叡山電鉄「京都精華大前駅」下車すぐ・地下鉄「国際会館駅」3番出口右30mの専用バス停よりスクールバス

岩崎達也 (Tatsuya IWASAKI)

039「泊まる × 空間のデザイン」

【泊まる × 雑誌】マガザンキョウト編集長。泊まれる雑誌マガザンキョウトをクラウドファンディングを活用し起業、編集長を勤める。雑誌のようにシーズン毎に空間で特集を表現する。

龍崎翔子 (Shoko RYUZAKI)

【泊まる × ソーシャル】ホテルプロデューサー。「ソーシャルホテル」をコンセプトに掲げた北海道・富良野の「petit-hotel #MELON 富良野」や京都・大阪の「HOTEL SHE.」を手がける。

矢津吉隆 (Yoshitaka YAZU)

【泊まる × アート】美術家、kumagusuku代表。2004年京都市立芸術大学美術科彫刻専攻卒業。2015年京都市壬生に宿泊型アートスペース KYOTO ART HOSTEL kumagusuku をオープン。

平田晃久 (Akihisa HIRATA)

040「Fermented」

1971年大阪府生まれ。1997年京都大学工学研究科修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務の後、2005年平田晃久建築設計事務所を設立。2015年より京都大学准教授就任。主な作品に「榎屋本店」(2006)、「sarugaku」(2008)、「alp」(2010)、「coi」 「Bloomberg Pavilion」(2011)、「Kotoriku」(2014)、「太田市美術館・図書館」(2017)等。第19回JIA新人賞(2008)、Elita Design Award(2012)、ベネチアビエンナーレ建築展金獅子賞(2012、伊東豊雄・畠山直哉・他2名との共働受賞)、LANXESSカラーコンクリートアワード(2015)等受賞多数。「A Japanese Constellation展」(2015、ニューヨーク近代美術館)参加。著書に「現代建築家コンセプト・シリーズ8 平田晃久 建築とはくらまりしるゝをつくることである」(LIXIL出版)等。

倉方俊輔 (Shunsuke KURAKATA)

041「建築を知る、のデザイン」

1971年東京生まれ。建築史家。早稲田大学大学院博士課程満期退学。博士(工学)。2011年より大阪市立大学大学院工学研究科准教授。建築史の研究や批評に加え、日本最大の建築公開イベント「イケフェス大阪」の実行委員として働くなど、建築と社会を近づけるべく活動中。2018年に森美術館で開催される「建築の日本展」共同企画者、進行中の銀座ソニーパークプロジェクトアドバイザーも務める。著書に『東京モダン建築さんば』『東京レトロ建築さんば』『吉祥寺ハモニカ横丁のつくり方』、共著に『これからの建築士』『大阪建築 みる・あるく・かたる』『伊東忠太建築資料集』などがある。

増田展大 (Nobuhiro MASUDA)

042「テクノロジーとデザイン」

1984年生まれ。神戸大学文学研究科修了、博士(文学)。立命館大学、京都精華大学ほか非常勤講師。専門は美学・芸術学・映像メディア論、視覚文化論、科学史。写真をはじめとする映像技術と、身体にまつわる科学的言説との関係のうちで、テクノロジーとしての映像メディアが果たす役割を考察。単著に『科学者の網膜 身体をめぐる映像技術論：1880-1910』(青弓社、2017)、共著に『映像文化の社会学』(有斐閣、2016)、『マンガ研究13講』(水声社、2016)など。

室千草 (Chigusa MURO)

043「映像から想像する空間体験」

1973年京都生まれ。1996年大阪芸術大学芸術計画学科卒業。映像のインスタレーションを様々な方法で発表。映像への静的要素の組み込みによって、独自の時間の流れを創出し、また現実と空想の境界を抽象化する試みをしている。個展：「Behind the Eyes」IF Museum(ポズナン、ポーランド/2007.2)、「何番目かの空白」LumenGallery(京都/2016.11)他。所蔵：IF Museum、ポズナン、ポーランド(「地上に生まれたらなにがあるの?」2004)。現在、映画『ヴァタ〜箱あるいは体〜』2017年(亀井岳監督)の制作に関わっている。

中村裕太 (Yuta NAKAMURA)

044「民俗と建築にまつわる工芸」

1983年東京生まれ、京都在住。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。博士(芸術)。博士論文「郊外住居工芸論―大正期の浴室にみる白色タイルの受容」。〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。最近の展示に「六本木クロッシング2013:アウト・オブ・ダウト―来たるべき風景のために」(森美術館、2013年)、「第8回アジア・パシフィック・トリエンナーレ」(クイーンズランド・アートギャラリー、2015年)、「第20回ビエンナーレ・ピエンナーレ」(キャレレッジワークス、2016年)、「あいちトリエンナーレ2016」(愛知県美術館、2016年)、「東アジア文化都市2017京都アジア回廊現代美術展」(京都芸術センター、2017年)など。

藤原徹平 (Teppei FUJIWARA)

045「建築の可能性を考える。神殿が住居か」

1975年横浜生まれ、2001年横浜国立大学大学院修了、2001年より隈研吾建築都市設計事務所勤務2012年退社、2009年よりフジワラテッペイアーキテクトラゴ主宰、2010年よりNPO法人ドリフターズインターナショナル理事、2012年より横浜国立大学大学院Y-GSA准教授、2013年より宇部ビエンナーレ審査員。主な建築作品に『等々力の二重円環』『代々木テラス』『葵メディカルアカデミー』、『那須塩原市(仮称)まちなか交流センタープロポーザル』最優秀、『京都市立芸術大学移転整備プロポーザル』最優秀(5社JV)。「キュッパのびじゅつかん」展、「岡本太郎×建築」展、「ヨコハマトリエンナーレ2017」「Reborn-ART Festival 2017」など展覧会や芸術祭の企画・会場構成にも多く関わる。

櫛勝彦 (Katsuhiko KUSHI)

046「カタチ：人と状況のインタフェースの発見」

京都工芸繊維大学工芸学部卒業後、(株)NECデザイン(現：日本電気(株))において製品デザインおよびインタラクションデザインの研究開発に従事、その間、米国スタンフォード大学プロダクトデザインプログラムにてMFAを取得。1999年京都工芸繊維大学助教授就任。以後、観察と創造を融合したデザイン方法論を軸に企業等との実践的研究に取り組む。現在、同大学デザイン・建築学系教授・博士[芸術]・博士後期課程デザイン学専攻長、グッドデザイン賞審査委員(2012-15)、京都府中小企業技術センター特別技術指導員、日本デザイン学会理事等も務める。

ドットアーキテクト (dot architects)

047「ツール・スキル・メンタリティ」

家成俊勝、赤代武志により2004年に設立された建築家ユニット。大阪・北加賀屋にて、アート、オルタナティブ・メディア、アーカイブ、建築、地域研究、サークル、NPOなど、分野にとらわれない人々や組織が集まる「もうひとつの社会を実現するための協働スタジオ」コーポ北加賀屋を拠点に活動。設計、施工のプロセスにおいて専門家・非専門家に関わらず様々な人との協働を実践している。設計だけに留まらず、現場施工、リサーチプロジェクト、アートプロジェクトなど様々な企画にもかかわる。現在のメンバーは家成俊勝、赤代武志、土井亘、寺田英史、宮地敬子、池田藍の6名。

小野明 (Akira ONO)

049「絵本と建築」

1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部卒業。出版社勤務を経て、フリーに。企画・編集・デザインで500冊以上の絵本・児童書に参加。トムズボックスの土井章史氏とともにプロの絵本作家を目指す人のためのワークショップ「あとさき塾」を共同主宰。五味太郎氏との共著『絵本をよんでみる』『絵本をよみつけてみる』(ともに平凡社ライブラリー)、柴田こずえ氏との共著『絵本作家になるには』(ベリかん社)、編著に『100人が感動した100冊の絵本』『絵本の作家たち1・II』(ともに別冊太陽・平凡社)などがある。現在、京都精華大学デザイン学部イラスト学科特任教授。

出井豊二 (Toyoji DEI)

050「京都市の屋外広告物あれこれ」

京都女子大学生生活デザイン研究所副所長・特任教授。京都市美観風致審議会委員。はり絵作家。著書に「出井豊二作品集」「出井豊二・はり絵の世界―京の町家とKyoはり絵技法―」「京都町家の老舗」など。

<Guest selector>

佐藤守弘 (Morihiro SATOW)

コロンビア大学大学院修士課程修了。同志社大学大学院博士後期課程退学。博士(芸術学)。芸術学・写真史・視覚文化論専攻。著書に『トポグラフィの日本近代―江戸泥絵・横浜写真・芸術写真』(青弓社)、『記憶の遠近術〜篠山紀信、横尾忠則を撮る』(共著、芸術新聞社)など。2012年、芸術選奨新人賞(評論等部門)受賞。現在、京都精華大学教授。

小山格平 (Kohei KOYAMA)

京都市立芸術大学美術研究科プロダクトデザイン修士課程修了。電機メーカーインハウスデザイナーとして勤務後、フリーランスのデザイナーとして活動。主に生活用具・音響機器・産業機器等のデザインに携わる。現在、京都精華大学デザイン学部プロダクトデザイン学科教授。

竹内一馬 (Kazuma TAKEUCHI)

048「人と植物の関係をデザインする」

映画会社勤務を経て、2007年より京都精華大学で教員として活動。2010年から、タナカカツキ客員教授と共に「自然への深い造詣から美しいデザインを学ぶ」事を目的とした「京都精華大学水槽学部」を設立し、世界コンテストへ向けた水草レイアウト水槽の作品制作をスタートする。2017年より、「植物と人との関わり方をデザインし、豊かな生活を創造する」事を目的とした研究工房「PLANTS DESIGN」を立ち上げ、「STACK POT SERIES / 底面給水式ハイドロカルチャープランター」を制作。

北村ケンジ (Kenji KITAMURA)

京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。(株)スタジオゲットを経てフリーイラストレーターとして活動。書籍・雑誌・広告・CM・TV番組・イベントなど、様々なメディアでイラストレーションを手掛ける。現在、京都精華大学デザイン学部イラスト学科准教授。

岸本敬子 (Keiko KISHIMOTO)

京都精華大学芸術学部デザイン学科ビジュアル・コミュニケーションデザイン専攻卒業。2007年、株式会社MAQ入社。サッポロ、三菱電機、ルミネ、KOSE、SUZUKIなどの広告制作に携わる。その後、現職(京都精華大学デザイン学部イラスト学科講師)。15年に結成したデザインユニット「トナカイサイズ」としても活動中。

<Guest selector + Coordinator>

葉山勉 (Tsutomu HAYAMA)

038「環境とデザイン」

建築家。京都精華大学建築学科教授。京都工芸繊維大学大学院修了。有限会社スクール代表取締役、スクール・アーキテクト1級建築士事務所代表。受賞歴：仙台市近代文学館設計競技特別選賞、空間デザインコンペティション入選、グッドデザイン賞他。著作：『子どもと空間』、『中にはいってみよう』他。

後藤直子 (Naoko GOTO)

PLACE LAB. 一級建築士事務所主宰。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。京都市立幸徳建築研究所等を経て、2006年PLACE LAB. を設立。建築設計、店舗デザインその他、グラフィックデザイン、企画や広報の活動も行う。現在、京都精華大学建築学科非常勤講師。

